

やりひも

NISHI

取扱説明書

NF363

このたびは本品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 ございます。

ご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みになり、
 正しくご使用ください。

なお、お読みになった後は大切に保管し、必要なとき
 お読みください。

⚠ 注意すること

○やりひもは、濡らさないように乾燥した場所に保管し
 てください。

⊘ してはいけないこと

○本来の用途以外に使用しないでください。

● グリップ部寸法に関する競技規則

| やり | 男子 | | 女子 | |
|--------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 一般・高校・U20 | U18 | 一般・高校・U20 | U18 |
| 一番太い部分の柄の直径(グ リップの太さ) | 25mm～30mm | 23mm～28mm | 20mm～25mm | 20mm～24mm |
| グリップ部の幅 | 150mm～160mm | 150mm～160mm | 140mm～150mm | 135mm～145mm |

■ 交換の仕方

○作業の仕方は、2ページをご覧ください。

○準備する物：長机、油性ペン、はさみ、
 薄手両面テープ（30cm程度）
 やわらかい布、20cm以上の定規、
 三角形の台（重心を測るのに使用）
 テニスのガットやタコ糸などの細く丈
 夫なひも、消毒用アルコール

○作業場所：やりは長いので、十分な広さと高さの
 ある場所での作業をおすすめします。

※周りに人がいないことを確認のうえ、作業を行って
 ください。

※本作業のやり方によっては、検定に必要な条件（重
 量、太さ、重心など）が満たせなくなることがあり
 ますので注意してください。

■ はじめに

本品は、やりのグリップ部に巻きつける専用のひもです。
 （「海外製やり」「やりSuper GD Carbon」を除く）
 3色ご用意しております。



■ 仕様

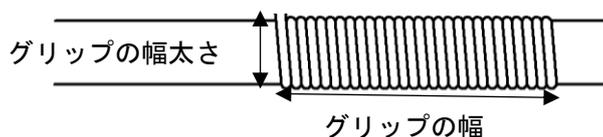
サイズ：(L)4m

材質：綿

色：青/04 赤/06 黒/07

日本製

※外観及び仕様は、改善のため予告なく変更することが
 あります。



■ 廃棄について

本品の廃棄に関しては、地域で定める条例に従ってくだ
 さい。

お問い合わせ

商品には万全を期しておりますが、万一不具合やその他ご
 不明な点などございましたら、ご購入店または弊社お客様
 相談室までお問い合わせください。
 なお、輸送中に発生した異常や破損は賠償保険の対象にな
 り、運送会社の証明が必要です。

株式会社ニシ・スポーツ お客様相談室

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目1番18号

TEL: 03-6369-9024

受付時間：9:00～12:00/13:00～17:00

（土日、祝日及び弊社都合による休日を除く）

URL: <https://www.nishi.com/>

■ 作業の仕方

1

先側 尾側

古いやりひもを切断し取り除きます。
このとき、刃物で本体をキズつけないように注意します。

2

重心位置に油性ペンで印をつけます

先側 尾側

やりを消毒用アルコールをつけたやわらかい布で拭き、重心位置を測ります。
重心位置には、油性ペンで印をつけておきます。

3

男子の場合150~160mm
女子の場合140~150mm

ここに印をつけます

先側 尾側

重心位置

重心位置からやりの尾側に向かって好みのやりひも幅の位置に印をつけます。グリップの長さは（男子：150mm~160mm、女子：140mm~150mm）です。
これを超えないように注意してください。

4

3つにほぐす

先側 尾側

重心位置 両面テープ

目印から目印の間に市販の両面テープを図のように貼り付けます。やりひもの先から3cm程度を上図のようにほぐし、やり尾側の目印に貼り付けます。

5

先側 尾側

重心位置

やりの尾側から重心に向けてやりひもを巻き始めます。

6

丈夫なひも

先側 尾側

重心位置 重心位置

重心位置から残り4~5巻付近で細く丈夫なひも（テニスのガットなど）を用意し、輪の形を作って図のように置き、やりひもで巻き込んでいきます。輪の端が重心を超えた位置になるようにします。

7

先側 尾側

重心位置

巻き込んだひもの上から重心位置いっぱいまでやりひもを巻き、図のように、先に巻き込んだひもの輪にやりひもを通します。

8

引き抜く

先側 尾側

先に巻き込んだひもを矢印の方向に引き抜きます。重心位置から4~5巻目から飛び出しているやりひもをはさみなどで切り取り、盛り上がっている部分を軽く叩いてください。